

I . 調査の概要

1 調査目的

この調査は、区政の課題について、区民の意識や意向を統計的にとらえ、今後の区政運営の基礎資料とするものである。

2 調査テーマ・内容

(1) 区の施策および評価について

- ・居住性の評価や定住意向
- ・区への愛着、誇り
- ・施策への満足度と必要性
- ・施策への要望
- ・区政情報の入手
- ・『ねりま区報』について

(2) 区民参加と協働について

- ・練馬区政推進基本条例「区民の参加・参画」「協働の推進」の認知状況
- ・区政への参加経験
- ・区政への参加方法
- ・区政についての意見交換会に参加する場合に希望する規模
- ・区政に参加しやすくするために有効と思う区の取り組み
- ・近隣住民や身近な地域とのつながりや意向
- ・身近な地域情報の入手手段
- ・町会・自治会について
- ・地域活動団体について

(3) グランドデザイン構想（区の将来像）について

- ・目指す将来像を示す上で重要なポイント
- ・10年後の「暮らしの安心」のイメージ
- ・10年後の「暮らしの楽しみ」のイメージ
- ・練馬区独立100周年を迎える30年後の望むまちの姿のイメージ

(4) 今回の調査内容について

- ・調査内容の難易度
- ・調査の質問量についての印象

3 調査設計

- (1) 調査地域 …… 練馬区内全域
- (2) 調査対象 …… 練馬区在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 …… 3,000サンプル
- (4) 対象者抽出方法 …… 層化二段無作為抽出法
- ①層化 …… 郵便番号に基づき、練馬区内を「5 地区区分（5 ページ）」に示すように4地区に区分し、それぞれを層とした。
- ②標本数の配分 …… 各層における満20歳以上の人口数（平成29年8月1日現在）により、「6 地区区分別回収状況（6 ページ）」に示すように3,000の標本数を配分した。
- ③地点抽出 …… 調査地点の抽出数は、1調査地点の標本数が10になるように、各層に配分された標本数より算出し、決定した。
調査地点の決定については、層ごとに、
- $$\frac{\text{層における人口数}}{\text{層で決定された調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$
- を算出し、等間隔抽出法によって、対象者抽出のための各調査地点の起算番号を算出した。
- ④対象者抽出 …… 練馬区住民基本台帳に基づき、各調査地点の起算番号目に出現する人を第1番目の抽出対象とし、以下各調査地点において一定の抽出間隔で10人に達するまで系統的に抽出し、計3,000サンプルを抽出した。
- (5) 調査方法 …… 郵送配付・郵送回収
- (6) 調査期間 …… 平成29年9月4日（月）～9月19日（火）
- (7) 調査機関 …… 株式会社 総合企画

4 回収状況

	成人人口※	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	606,092	3,000	1,184	39.5%

※平成29年8月1日現在

<参考> 平成28年度回収状況 ※調査設計は平成29年度と同じである。

	成人人口※	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	601,469	3,000	1,247	41.6%

※平成28年8月1日現在

5 地区区分

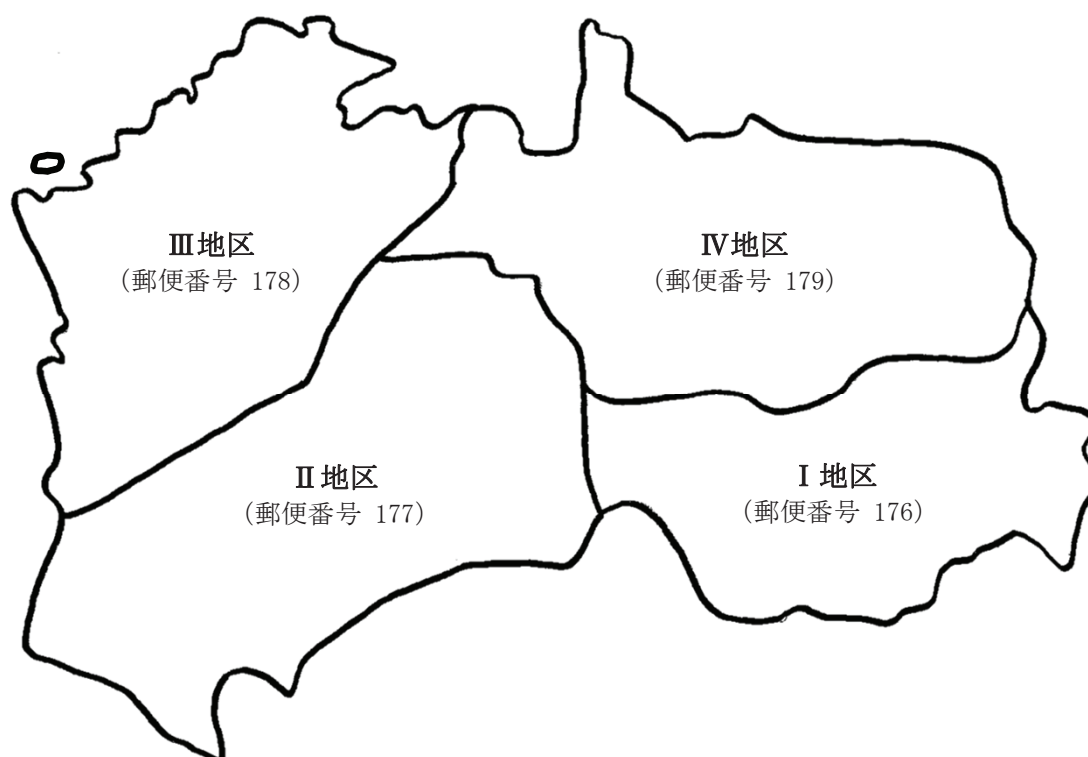


表 1 地区区分一覧

区 分	町 名
I 地区 (〒176)	練馬、桜台、羽沢、小竹町、旭丘、栄町、豊玉上、豊玉北、 豊玉中、豊玉南、貫井、向山、中村北、中村、中村南
II 地区 (〒177)	三原台、谷原、高野台、富士見台、南田中、石神井町、 下石神井、上石神井南町、上石神井、石神井台、関町北、 関町東、関町南、立野町
III 地区 (〒178)	大泉学園町、大泉町、東大泉、南大泉、西大泉、西大泉町
IV 地区 (〒179)	旭町、光が丘、田柄、春日町、高松、土支田、北町、錦、 平和台、氷川台、早宮

6 地区区分別回収状況

	成人人口	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	606,092	3,000	1,184	39.5%
I 地区 (〒176)	148,346	755	278	36.8%
II 地区 (〒177)	174,449	861	345	40.1%
III 地区 (〒178)	114,181	549	213	38.8%
IV 地区 (〒179)	169,116	835	311	37.2%
(地区無回答)	-	-	37	-

7 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは、その質問への回答者総数のことである。
- (2) 回答は、回答者総数を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入している。このため、回答率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の質問では、回答率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) フェイスシート（一部質問）として、次の11項目をとりあげた。巻末集計表には、このうち9項目とのクロス集計結果を掲載してある。

①地区別	②性別	③年齢別	④性・年齢別
⑤職業別	⑥ライフステージ別	⑦家族構成別	⑧家族人数別
⑨住居形態別	⑩住居所有形態別	⑪通勤・通学場所別	

- (5) 図表中、スペースの都合上、回答選択肢を短縮している場合がある。
- (6) フェイスシートの項目別や質問項目別に分析する場合、分析の都合に応じて、複数のカテゴリー（回答選択肢）を1つにまとめたり、あるカテゴリーを削除するなどの加工をしている場合がある。1つにまとめた場合に、それぞれの比率の合計と合わせた比率が異なる場合があるが、これは四捨五入による差異である。
- (7) 各設問の説明では、基数（n）が30に満たない項目は除いて比較している。
- (8) 巻末集計表では、属性部分から無回答を除いているため、該当者の合計が総数とならない場合がある。

8 標本誤差について

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、誤差を数学的に計算することが可能である。

今回の調査の回答結果から、母集団（練馬区在住の満20歳以上の男女）全体の比率を推定するため、層化二段無作為抽出法の場合の標本誤差の＜算出式＞と＜早見表＞を示した。

標本誤差および＜標本誤差早見表＞は、以下のように使用する。

例えば、問2の「あなたは、練馬区の住みごちをどう思いますか」という質問に対して、「まあ住みよい」と答えた人は1,184人のうち56.3%であった。回答者数が1,184人、回答率が60%前後のときの標本誤差は、＜標本誤差早見表＞では±4.03%であるから、「まあ住みよい」と考えている人は、練馬区在住の満20歳以上の男女全体（母集団）の52.27%から60.33%の間にあると推定できる。ただし信頼度は95%であるので、この推定は95%の確率で正しいといえることになる。

<標本誤差算出式> (信頼度 : 95%)

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 N = 母集団 (練馬区全体)
 n = 回答者 P = 回答の比率 ($0 \leq P \leq 1$)

<標本誤差早見表> (信頼度 : 95%)

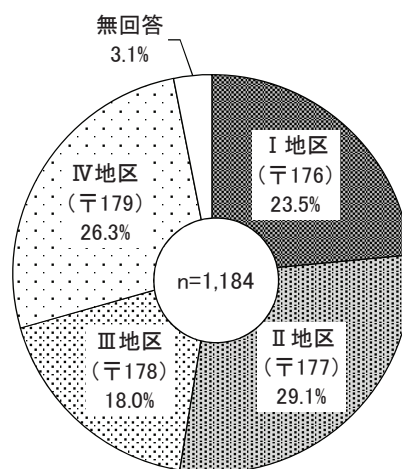
回答比率(P) 回答者数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,184	± 2.47	± 3.29	± 3.77	± 4.03	± 4.11
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
800	± 3.00	± 4.00	± 4.58	± 4.90	± 5.00
600	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
400	± 4.24	± 5.66	± 6.48	± 6.93	± 7.07
100	± 8.49	±11.31	±12.96	±13.86	±14.14

(注) N は n より非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として計算した。

9 回答者の属性

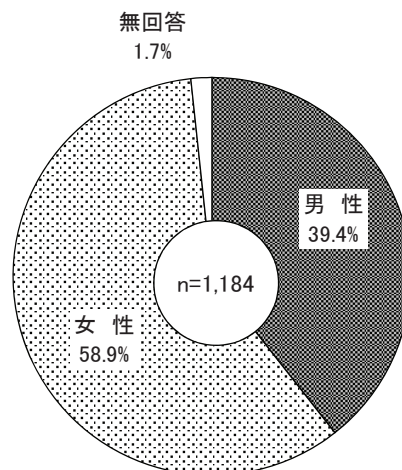
[地 区]

	基 数	構 成 比
1 I地区 (〒176)	278	23.5%
2 II地区 (〒177)	345	29.1%
3 III地区 (〒178)	213	18.0%
4 IV地区 (〒179)	311	26.3%
無回答	37	3.1%
合 計	1,184	100.0%



[性 別]

	基 数	構 成 比
1 男 性	467	39.4%
2 女 性	697	58.9%
無回答	20	1.7%
合 計	1,184	100.0%



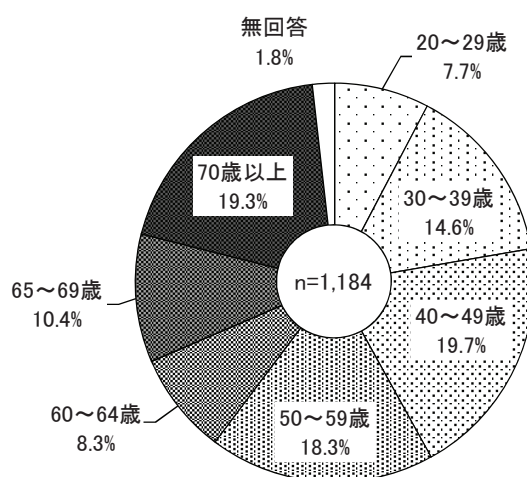
《 地区別 》

(%)

	n	男性	女性	無回答
全 体	1,184	39.4	58.9	1.7
I地区 (〒176)	278	37.4	61.9	0.7
II地区 (〒177)	345	40.9	58.6	0.6
III地区 (〒178)	213	41.3	56.8	1.9
IV地区 (〒179)	311	39.9	59.5	0.6
(地区無回答)	37	27.0	45.9	27.0

[年 齡]

	基 数	構 成 比
1 20～29歳	91	7.7%
2 30～39歳	173	14.6%
3 40～49歳	233	19.7%
4 50～59歳	217	18.3%
5 60～64歳	98	8.3%
6 65～69歳	123	10.4%
7 70歳以上	228	19.3%
無回答	21	1.8%
合 計	1,184	100.0%



《 地区別 》

(%)

	n	男 性							女 性							(性別無回答)
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	(年齢無回答)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	(年齢無回答)	
全 体	1,184	3.0	5.2	7.7	7.3	8.3	8.0	0.1	4.7	9.5	12.0	11.1	10.4	11.1	0.1	1.9
I地区 (〒176)	278	3.6	6.5	8.3	6.1	6.8	6.1	-	7.6	12.6	11.2	10.1	9.7	10.8	0.1	0.7
II地区 (〒177)	345	3.2	5.2	7.2	7.2	9.0	9.0	-	5.2	8.1	14.2	11.0	9.6	10.1	-	0.9
III地区 (〒178)	213	3.3	6.1	8.5	8.0	8.0	7.5	-	2.3	7.5	13.1	11.3	8.9	13.6	-	1.9
IV地区 (〒179)	311	2.3	3.9	7.4	8.7	8.4	9.3	-	3.9	9.6	9.6	11.6	13.5	11.3	-	0.6
(地区無回答)	37	-	-	5.4	-	13.5	5.4	0.1	-	8.1	10.8	13.5	5.4	8.1	-	29.7

<参考>性・年齢別の母集団との比較

		計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	(無回答)
男性	母集団	48.3	7.4	8.7	10.0	8.1	6.3	7.7	-
	調査結果	39.4	3.0	5.2	7.7	7.3	8.3	8.0	0.1
女性	母集団	51.7	7.9	8.6	9.8	7.7	6.4	11.3	-
	調査結果	58.9	4.7	9.5	12.0	11.1	10.4	11.1	0.1
(性別無回答)		1.7	-	-	-	-	-	-	1.6

[職 業]

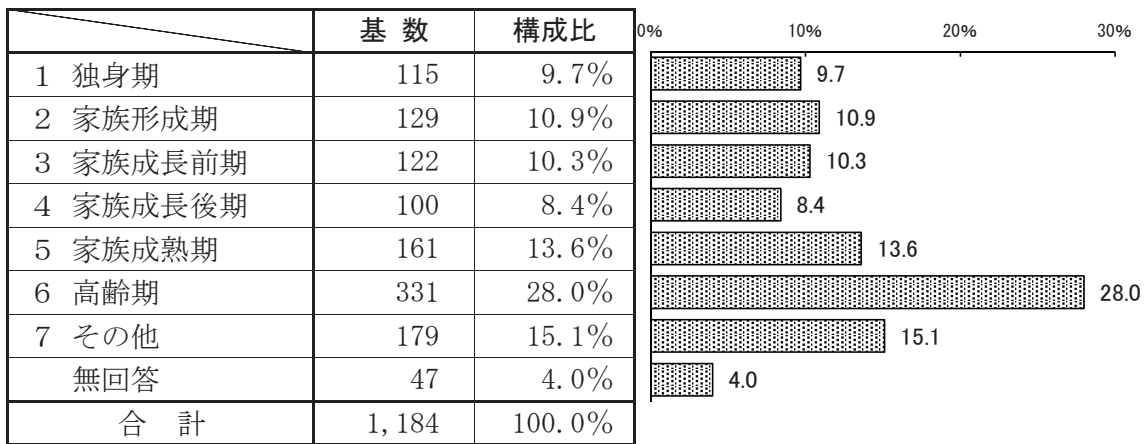
	基 数	構 成 比
1 自営業	73	6.2%
2 家族従業 (家事手伝い)	9	0.8%
3 自由業	20	1.7%
4 会社役員	42	3.5%
5 常勤の勤め人	414	35.0%
6 パート・臨時の勤め人	200	16.9%
7 専業主婦 (夫)	197	16.6%
8 学生	18	1.5%
9 無職	183	15.5%
10 その他	9	0.8%
無回答	19	1.6%
合 計	1,184	100.0%

《 地区別 》

	n	自営業 (計)				勤め人 (計)				無職 (計)				無回答	
		自営業	家族従業 (家事手伝い)	自由業	会社役員	常勤の勤め人	パート・臨時の勤め人	専業主婦 (夫)	学生	無職	その他				
全 体	1,184	8.6	6.2	0.8	1.7	55.4	3.5	35.0	16.9	34.4	16.6	1.5	15.5	0.8	1.6
I 地区 (〒176)	278	7.6	4.7	0.7	2.2	57.6	5.0	39.6	12.9	34.2	18.0	1.1	13.7	1.4	0.7
II 地区 (〒177)	345	9.3	6.7	0.3	2.3	55.1	3.2	35.9	15.9	35.4	17.7	1.7	15.7	0.3	0.3
III 地区 (〒178)	213	7.0	5.2	1.4	0.5	58.7	3.3	34.7	20.7	32.4	16.4	1.9	13.6	0.5	1.9
IV 地区 (〒179)	311	10.3	8.0	0.6	1.6	53.7	3.2	31.5	19.0	35.4	15.4	1.6	18.0	0.3	0.6
(地区無回答)	37	5.4	2.7	2.7	-	37.8	-	21.6	16.2	29.7	8.1	-	16.2	5.4	27.0

(注) 自営業 (計) は、自営業、家族従業 (家事手伝い)、自由業を合わせたもの
 勤め人 (計) は、会社役員、常勤の勤め人、パート・臨時の勤め人を合わせたもの
 無職 (計) は、専業主婦 (夫)、学生、無職、その他を合わせたもの

[ライフステージ]



《 地区別 》

(%)

	n	独身期	家族形成期	家族成長前期	家族成長後期	家族成熟期	高齢期	その他	無回答
全 体	1,184	9.7	10.9	10.3	8.4	13.6	28.0	15.1	4.0
I 地区 (〒176)	278	13.3	15.5	9.7	4.0	8.6	24.5	20.9	3.6
II 地区 (〒177)	345	9.0	11.6	10.1	11.0	13.6	29.0	14.2	1.4
III 地区 (〒178)	213	9.4	8.0	12.2	11.3	15.0	27.2	12.2	4.7
IV 地区 (〒179)	311	8.4	8.4	10.6	8.7	17.7	30.5	13.5	2.3
(地区無回答)	37	2.7	8.1	2.7	-	8.1	27.0	10.8	40.5

(注) ライフステージは、次のような定義に基づいて区分した。

- 1 独身期 …………… 40歳未満の独身者
- 2 家族形成期 ……… 40歳未満の子どもがいない夫婦
または一番上の子どもが小学校入学前の人
- 3 家族成長前期 …… 一番上の子どもが小・中学生の人
- 4 家族成長後期 …… 一番上の子どもが高校・大学生の人
- 5 家族成熟期 ……… 64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
- 6 高齢期 …………… 65歳以上の人
- 7 その他 …………… 40～64歳の独身者、40～64歳の子どもがいない夫婦など

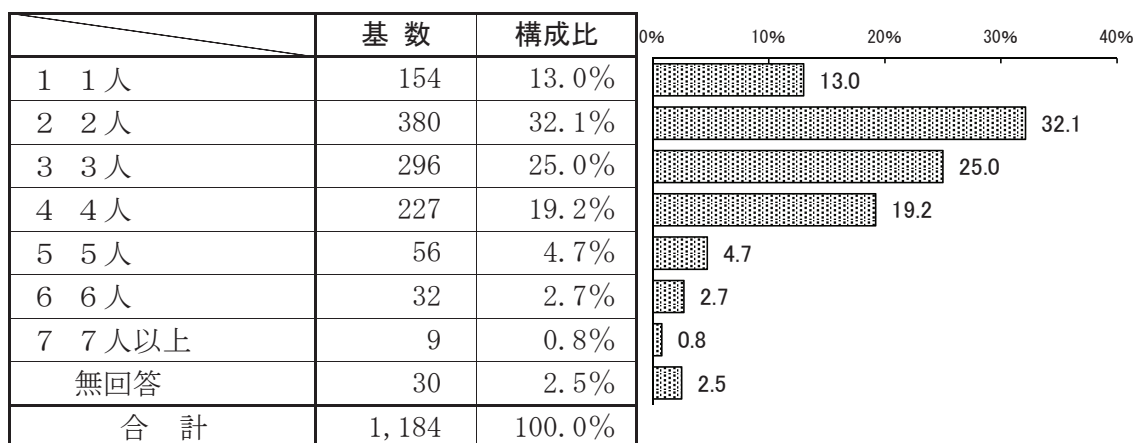
[家族構成]

	基 数	構 成 比	
1 夫婦のみ（一世代家族）	324	27.4%	27.4
2 親と未婚の子ども	536	45.3%	45.3
3 親と子ども夫婦（二世代家族）	40	3.4%	3.4
4 親と子どもと孫（三世代家族）	53	4.5%	4.5
5 ひとりぐらし	154	13.0%	13.0
6 その他	34	2.9%	2.9
無回答	43	3.6%	3.6
合 計	1,184	100.0%	

《 地区別 》

	n	夫 婦 の み （ 一 世 代 家 族 ）	親 と 未 婚 の 子 ど も	親 と 子 ど も 夫 婦 （ 二 世 代 家 族 ）	親 と 子 ど も と 孫 （ 三 世 代 家 族 ）	ひ と り ぐ ら し	そ の 他	無 回 答
全 体	1,184	27.4	45.3	3.4	4.5	13.0	2.9	3.6
I 地区（〒176）	278	28.1	39.2	2.2	4.7	20.5	2.9	2.5
II 地区（〒177）	345	27.2	49.3	4.3	3.2	11.3	3.5	1.2
III 地区（〒178）	213	26.3	53.1	4.2	5.2	7.5	2.8	0.9
IV 地区（〒179）	311	29.9	44.4	3.2	5.8	12.9	2.6	1.3
（地区無回答）	37	8.1	16.2	-	-	5.4	-	70.3

[家族人数]



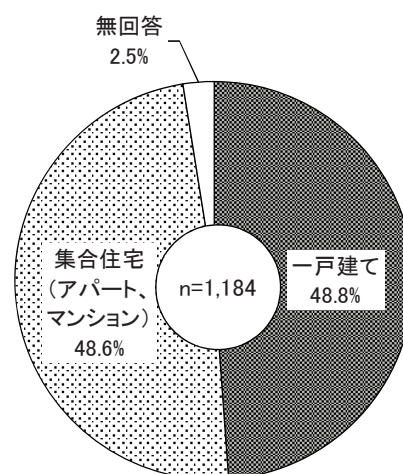
《 地区別 》

(%)

	n	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全体	1,184	13.0	32.1	25.0	19.2	4.7	2.7	0.8	2.5
I地区 (〒176)	278	20.5	33.5	22.7	13.7	6.1	1.8	1.4	0.4
II地区 (〒177)	345	11.3	30.4	28.4	22.6	4.3	2.0	0.3	0.6
III地区 (〒178)	213	7.5	31.0	29.1	23.0	6.1	1.9	1.4	-
IV地区 (〒179)	311	12.9	36.0	22.2	19.9	3.5	5.1	0.3	-
(地区無回答)	37	5.4	10.8	10.8	-	-	-	-	73.0

[住居形態]

	基数	構成比
1 一戸建て	578	48.8%
2 集合住宅 (アパート、マンション)	576	48.6%
無回答	30	2.5%
合計	1,184	100.0%

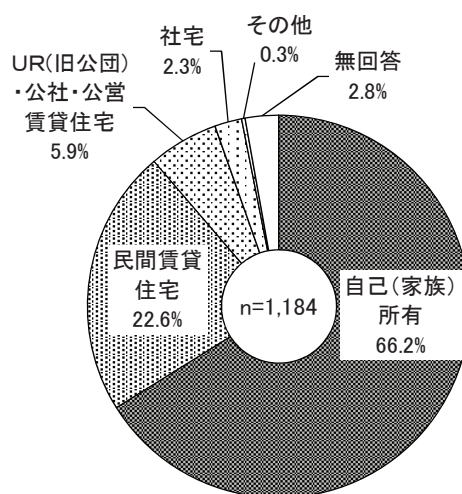


《 地区別 》 (%)

	n	一戸建て	集合住宅	無回答
全体	1,184	48.8	48.6	2.5
I地区 (〒176)	278	37.8	61.9	0.4
II地区 (〒177)	345	49.3	49.9	0.9
III地区 (〒178)	213	68.5	31.5	-
IV地区 (〒179)	311	47.6	52.1	0.3
(地区無回答)	37	24.3	8.1	67.6

[住居所有形態]

	基数	構成比
1 自己(家族)所有	784	66.2%
2 民間賃貸住宅	267	22.6%
3 UR(旧公団)・公社・公営賃貸住宅	70	5.9%
4 社宅	27	2.3%
5 その他	3	0.3%
無回答	33	2.8%
合計	1,184	100.0%

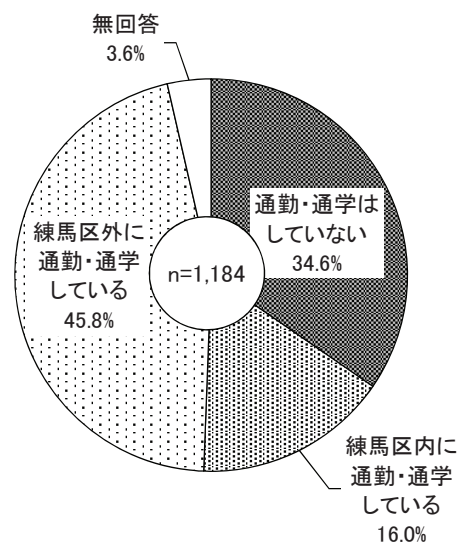


《 地区別 》 (%)

	n	自己(家族)所有	民間賃貸住宅	UR(旧公団)・公社・公営賃貸住宅	社宅	その他	無回答
全体	1,184	66.2	22.6	5.9	2.3	0.3	2.8
I地区 (〒176)	278	60.8	32.0	4.7	1.4	1.1	-
II地区 (〒177)	345	73.0	21.2	3.5	1.2	-	1.2
III地区 (〒178)	213	73.7	18.8	4.7	2.3	-	0.5
IV地区 (〒179)	311	63.7	19.3	11.3	4.5	-	1.3
(地区無回答)	37	21.6	13.5	-	-	-	64.9

[通勤・通学場所]

	基 数	構 成 比
1 通勤・通学はしていない	410	34.6%
2 練馬区内に通勤・通学している	189	16.0%
3 練馬区外に通勤・通学している	542	45.8%
無回答	43	3.6%
合 計	1,184	100.0%



《 地区別 》

(%)

	n	い 通 勤 ・ 通 学 は し て い な い	通 練 馬 区 内 に 通 勤 ・ 通 学 し て い る	通 練 馬 区 外 に 通 勤 ・ 通 学 し て い る	無 回 答
全 体	1,184	34.6	16.0	45.8	3.6
I地区 (〒176)	278	37.1	10.1	51.4	1.4
II地区 (〒177)	345	34.5	17.4	46.7	1.4
III地区 (〒178)	213	33.3	19.7	46.0	0.9
IV地区 (〒179)	311	36.0	18.6	43.7	1.6
(地区無回答)	37	13.5	2.7	10.8	73.0